

平成31年 第2回委員会会議録

1 開催年月日 平成31年1月22日(火)

2 開閉会時刻 開会：午前10時30分 閉会：午前11時00分

3 場 所 福岡市選挙管理委員会

4 出席委員 津田委員長、濱田委員長職務代理者、三原委員、石井委員

5 事務局職員 事務局長、選挙課長、庶務係長、選挙係長、書記2名

6 傍聴者 なし

7 議 題

(1) 報告事項

① 選挙人名簿から抹消する者の数について

② 在外選挙人名簿登録者数について

③ 政治活動のために使用する事務所に係る立札及び看板の類に表示する証票の交付状況について

(2) その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・平成31年2月5日(火)午前10時30分

・平成31年2月21日(木)午前10時30分

・平成31年3月6日(水)午前10時30分

8 議事次第(○：出席委員、▲：事務局職員)

(1) 報告事項

報告事項①～③について、事務局から資料の説明・報告を行った。

(2) その他

次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。

【質疑等】

○ 条例では投票の2日前までに選挙公報を配布することになっているが、それでは遅いと思うため、業者の選定や入札のあり方などを検討する必要がある。

明るい選挙推進協会が作成した前回の第18回統一地方選挙の全国意識調査の結果によると、特定の候補者に投票することを決めたのは、「選挙期間中」とであるという回答が道府県議員の選挙では30.8%であった。

また、選挙期間中に見たり聞いたりしたもので、役立ったものという質問に対して、「役に立った」という回答が最も多かったのは選挙公報で17.3%であった。その次に多かったのは街頭演説で11.8%であり、このことから選挙公報が重要であることがわかる。

候補者を決定するにあたり、選挙公報は重要な判断材料となっているため、早く届くよう検討を行ってほしい。

○ 他の自治体は何日ぐらいで配布しているのか調査しているのか。

▲ 配布方法は調査しているが、日数は調査していない。

○ 他の自治体を調査し、合理的な方法を検討していく必要があると思う。

○ 配布が早いところと遅いところがあるため、それを改善できない原因を知りたい。

○ フリーペーパーを配布している業者などがあり、対応できる業者も色々あるのではないかと。

○ 選挙公報については、1日も早く届けることは重要であると思う。

○ 郵送すると早く届けられると思うが、必要経費が増加することになると考えられる。また、1人あたりの配布枚数を減らすことにより早く届ける方法が考えられるが、実際の配布人員を確保できるかなどを考えなくてはいけない。どちらにしても費用が必要になると思う。

○ 次の選挙は統一地方選挙であり、候補者の数が多いので、早く選挙公報を届ける必要があると思う。
